

はじめに

この記録は、平成24年中に本県で発生した災害の被害状況及び気象状況等を収録したものです。

平成24年は、国内では7月中旬に九州北部を中心に大雨に見舞われ（「平成24年7月九州北部豪雨」）、30名近くの死者・行方不明者を出す甚大な災害となったように、この年は多くの雨に見舞われた年でありました。

そのような中、平成24年中に本県で発生した災害による被害総額は約55億円にのぼりました。主な災害としては、6月15日から17日にかけての梅雨前線による豪雨で約15億円の被害額が生じたのをはじめ、7月22日から23日にかけての豪雨では、床上浸水12棟・床下浸水86棟の被害がもたらされました。

このような災害から県民の生命や財産を守るため、県では平成25年12月15日に、南海トラフ巨大地震・津波を想定した、初の実践的な訓練を実施しました。この中では、警察・消防・自衛隊等、県内外の防災関係機関と連携し、発災時の初動からの動きを確認して、課題を洗い出す訓練を行うことで、災害時に迅速・的確に対応できる防災体制の充実を図っております。

また、防災の日フェアや防災士養成研修、出前防災講座の実施など、県民一人ひとりの防災意識の向上や知識の普及・啓発活動にも取り組んでいるところであります。

これからも、本県の地域防災計画に基づき、県民及び各防災関係機関が一体となって、安全で安心して暮らせる社会を目指し、一層連携して参りたいと考えております。

関係機関等におかれましては、本記録を防災上の関係資料として御活用していただければ幸いに存じます。

最後に、この記録の収録に当たり御協力をいただきました宮崎地方気象台をはじめ、関係機関の方々に対しまして、厚くお礼を申し上げます。

平成26年3月

宮崎県危機管理統括監

橋本 憲次郎